

令和7年度 キャリア教育発達段階表

	具体的活動（ステージ1）	具体的活動（ステージ2）	具体的活動（ステージ3）	具体的活動（ステージ4）
自分のことは自分でできる子	・日常生活に必要な意思表示や要求ができる。	・自分の要求、困った時や嫌な時の気持ちを表現できる。	・気持ち、意見、要望を自分なりに伝えられる。	・自分の意見、要望を適切な方法で伝えられる。
	・身近な人にあいさつ（おはよう/こんにちは/さようなら/いただきます/ごちそうさま等）ができる。	・教師と一緒に簡単な係りの仕事ができる。	・指示や説明を聞いて活動できる。	・TPO(時と場所、場面)に応じて感謝やいたわり、反省などの自分の気持ちを伝えることができる。
	・自分の好きな活動を知り、楽しむことができる。	・落ち着ける場所、楽しい活動を見つけたり選んだりできる。	・作業分担や役割が分かる。	・役割を意識して活動に取り組める。
	・支援を受けながら、活動に取り組むことができる。	・時計/タイマーを利用し時間を意識できる。	・基本的生活習慣が概ね確立できている。	・活動への工夫、改善ができる。
	・支援を受けながら、作業の準備や片付けができる。	・おおまかな見通しを持ち、やる事が分かる。	・活動を通して生活上必要な知識を得られる。	・情報を収集し役立てる経験を積むことができる。
	・支援を受けながら、活動の内容を部分的に理解して取り組める。	・各自の方法でスケジュールを確認し、生活できる。	・時間を意識して活動できる。	・すべきこと・したいこと（目標）が設定できる。
	・将来へ向けての体力づくりに励むことができる。	・仕事や役割が理解できる。	・1日のスケジュールを意識し、活動ができる。	・状況に応じて、自分で予定を変更できる。
自分らしくふんばる子	・自分の好きな学習活動を見つける。	・不快なことや不快な場所や場面を避けれる。	・進んで活動に取り組める。	・自分の役割を責任持って果たそうとする。
	・支援を受けながら、身の回りのことを自ら行う。	・1人でできることを増やせる。	・生活（学校・家庭）の中で役割を果たし、喜びややりがいを感じて取り組める。	・将来への希望をもって、主体的に活動に取り組んでいる。
	・支援を受けながら、苦手なことにも取り組める。	・やりたいことを見つけ、やってみようとする。	・自分のやりたいことを踏まえて、活動を選べる。	・自分の特性を意識して活動できる。（自分を知る）
		・選択肢の中から好きなものを選べる。	・不安や不快を解消する方法の模索ができる。	・活動の中で自己コントロールできる。
		・楽しみを期待して嫌なことにも取り組める。	・予定の変更が受容できる。	・苦手なことや不本意なことも受け入れ、必要なことは伝えることができる。
		・好きなことを増やせる。	・活動を通して達成感を実感し、次回への意欲を持てる。	・自分の目標に向けての取り組みができる。
成長を実感できる子	・活動の中で「分かった」「できた」という達成感を持つことができる。	・生活の中で、自分に任された役割をやろうとする。	・自分の興味・関心に基づいて、より良い選択をしようとする。	・自分の役割にやりがいを持てる。
	・褒められたら喜ぶことができる。	・ありがたいと言われて喜ぶことができる。	・知ったことや学んだことを活動に活かすことができる。	・自分の特性について肯定的に捉え、努力することの大切さがわかる。
	・できたことを教師と一緒に喜ぶことができる。	・いろいろな活動を通して、興味・関心を広げ、チャレンジして活動しようとする。	・活動の振り返りと次回の課題の確認ができる。	・活動を通して働くことの喜びを知ることができる。
	・体験したことに興味や関心を持つことができる。	・活動に取り組んだ後、頑張ったことが言える。	・自分の担当、任されたことをやり遂げることができる。	
			・得意なこと、好きなことを増やしていける。	
自分や他の人を大切にできる子	・友だちや身近な人と、積極的に関わろうとする。	・ありがとう、ごめんなさいが言える。	・人の話、意見が聞ける。	・相手の話を理解し、積極的な関わりができる。
	・友だちや教師と一緒に集団活動に参加することができる。	・友だちや身近な人の良い所を見つけることができる。	・TPO（時と場所、場面）を意識した言葉遣いができる。	・集団の一員として活動に取り組める。
	・友だちと一緒に活動や作業ができる。	・友だちと協力して活動や作業ができる。	・相手の立場に立って、考えることができる。	・友だちの良さに気付き、認めることができる。
	・信頼できる好きな人を見つける。	・友だちと一緒に簡単なごっこ遊びやルールのある遊びができる。	・集団の中で生活の流れに乗り、一緒に活動できる。	・相手に対して、TPO（時と場所、場面）に応じた言動ができる。
地域の中で暮らせる子	・家族、友だち、教師などの身近な人を意識し、一緒に手伝いすることができる。	・生活の中に決まりやルールがあることが分かる。	・出会った人に自分からあいさつできる。	・立場や意見を理解し、コミュニケーションを取り、活動できる。
	・規則正しい生活を送ることができる。	・マナーを守って公共物を利用できる。	・生活の決まりやルールを意識し守ることができる。	・集団や社会のルールを守り、協力して活動できる。
		・簡単な買い物ができる。	・社会的ルール（社会規範）を意識できる。	・社会生活の決まりや制度を理解して守れる。
		・目標とする人やあこがれの仕事を見つけることができる。	・社会的ルール（社会規範）を守ろうとする。	・情報を実際の生活で活かせる。
			・いろいろな仕事（職業）を知っている。	・活動を通して働くことの意義を知り、自己の進路に活かせる。
			・将来「働くこと」を意識している。	・労働による収入が生活の基盤になることが理解できている。
			・目標に向けた計画的取り組みができる。	・将来的にやってみたい仕事を模索できる。
			・余暇として得意なこと、やりたいことを見つけることができる。	

令和7年度 進路およびキャリア教育に関する取組の学部別現状について

1. 日々の取組

(1) 学部での共通理解

○指導案の各学習内容にキャリア発達段階の視点を併記し、キャリア教育の狙いを学習に取り込む。

(2) 具体的な取組

能力	要素	小学部		中学部		高等部	
		要素の内容	取組	要素の内容	取組	要素の内容	取組
人間関係形成・社会形成能力	意思・表現コミュニケーション	○大人や友だちとのやりとり ○自分の要求や気持ちの表出	・要求などを言語やサイン、カード、指さしなどで表出 ・給食のメニューで好きなものを聞き答える。 ・友だちと協力して活動（ゲーム）をする。 ・あいさつ（登下校、朝の会・終わりの会、各授業の始めと終わり）や呼名時の返事 ・学部集会で縦割り班での活動（年2回）	○意思表示の方法 ○相手の気持ちや考え、立場の理解	・要求などを言語やサイン、カード、指さしなどで表出 ・みんなの前で発表をする。 ・友だちと協力して活動（ゲーム）をする。 ・あいさつ（登下校、朝の会・終わりの会、各授業の始めと終わり）や呼名時の返事 ・自分の気持ちを文字や言葉で表す。	○社会生活に必要なコミュニケーションスキル ○他者の考えや個性の尊重	・自分の思いや気持ちを適切な方法で伝える。 ・みんなと協力して活動する。 ・他者の気持ちや考えを知る。 ・友だちと協力や相談をしながら活動に取り組む。 ・友だちのことも考えながら行動する。
	人との関わり社会性	○集団の一員としての振る舞い／活動	・年2回の校外学習 ・縦割り班での学部集会(年2回) ・宿泊体験学習(5年)、修学旅行(6年)の集団活動 ・誕生会（ゲーム） ・劇遊び	○集団生活でのルールや役割の理解	・友だちと一緒に行動する。 ・社会体験学習/修学旅行/宿泊学習/文化・自然体験学習/現場見学 ・七夕交流 ・買い物学習 ・誕生会（ゲーム）	○社会生活における他者との相互理解・共同生活	・校外学習 ・宿泊学習 ・球技大会、生徒会選挙、県農交流、カンライズ交流 ・学年生単(夏まつり) ・Ⅱ類生単 ・マナー学習 ・運動会
自己理解・自己管理能力	自己の役割・主体性	○自分の役割の理解と実行	・日番（朝の会や終わりの会の司会など） ・学部集会で縦割り班での活動、司会 ・誕生会の司会 ・クラスの仕事（保健ファイル、消耗品の補充や教室の準備）などの手伝い	○学校生活・家庭生活における役割遂行	・日番（朝の会や終わりの会の司会など） ・係の仕事 ・給食当番で牛乳や食器、食缶を分担して運ぶ、台拭き ・誕生日会の司会 ・行事の司会、進行 ・宿泊学習の係	○職業及び働くことの意義理解と社会生活における役割遂行	・日番（朝の会や終わりの会の司会など） ・係の仕事(クラス、授業、給食) ・行事の係の仕事 ・生徒会活動 ・運動会
	自己認知・障害受容・自己管理	○自分の良さや苦手な気づき ○基本的生活習慣の確立	・着替えや排泄、手洗いなど基本的生活習慣の定着 ・給食でのエプロン、三角巾、マスクの着衣、給食での正しい食習慣の形成 ・朝の運動での周回数を磁石で確認。 ・好きなことを増やす。 ・遊びや授業場面で、落ち着ける場所、活動を見つけたり、選んだりする。	○達成感に基づく肯定的な自己理解 ○不安解消の模索	・着替えや排泄、手洗いなど基本的生活習慣の定着 ・給食でのエプロン、三角巾、マスクの着衣、給食での正しい食習慣の形成 ・学期の目標を考える。 ・自己紹介をする。 ・好きなことを増やす。 ・遊びや授業場面で、落ち着ける場所、活動を見つけたり、選んだりする。	○自己の特性理解とストレスマネジメント ○折り合える力と自己コントロール	・障害の受容 ・食習慣(給食、家庭科) ・運動と休養 ・生活リズムの確立 ・性教育 ・好きなことを見つける、増やす(クラブ、部活動、休憩時間) ・自分の落ち着ける場所や活動を見つける、選ぶ。
課題対応能力	情報選択、活用	○情報による自己選択	・あそびや休み時間で、場所や遊具の選択 ・学習課題の選択	○情報収集方法の選択と記録技能 ○仕事、働く人など身の回りの様々な環境への関心	・休み時間に、場所や遊具、一緒に遊ぶ友だちの選択 ・学習課題の選択	○様々な情報ツールを用いた実際の生活での課題解決 ○職業生活・社会生活に必要な事柄の情報収集と活用	・ICTの活用(タブレットを利用し、必要な情報を収集する、情報の取捨選択) ・情報モラル講習会 ・選挙出前講座
	計画・立案・実行	○見通しを持った活動への取組	・朝の会で時間割カードを用いた一日の予定の確認 ・授業における流れの確認 ・手順書を見て作成 ・教師と一緒に活動に取り組む。	○自己のスケジュール管理と活動の振り返り	・朝の会で時間割カードを用いた一日の予定の確認 ・授業における流れの確認 ・手順書を見て作成 ・教師と一緒に活動に取り組む。 ・行事の内容を考える。 ・調理実習で何を材料に何を作るかを考える。 ・社会体験学習のスケジュールを考える。	○自己の目標設定とそれに向けた主体的なPDCAの取り組み	・朝の会や終わりの会での予定確認 ・行事に向けての取組 ・生徒会行事
キャリアプランニング能力	学ぶ・働く意義や役割の理解	○販売や購買の体験 ○公共物の使用	・店舗や自動販売機での商品購入体験 ・いなみ野お店屋さん（買い物遊び） ・生単での図書館等の公共物の利用、お店屋さんごっこ ・公共交通機関の利用体験 ・校外学習での公共施設の利用 ・修学旅行での公共施設の利用 ・外食体験	○労働の体験と達成感 ○労働と報酬の理解	・店舗や自動販売機での商品購入体験 ・学部作業で「作る」→「販売」→「収入」を体験する。 ・販売学習での販売体験 ・社会体験時の公共交通機関の利用体験 ・宿泊学習、修学旅行時の公共施設の利用 ・外食体験 ・稲美中央公園清掃活動	○職業の意義の実感	・しごと・暮らし ・作業学習 ・販売学習 ・検定(喫茶、ビルクリーニング、物流、PC) ・現場見学 ・現場実習 ・校外学習（現場見学）
	生きがい・やりがい	○意欲的な活動への取組	・授業後、終わりの会での振り返り、感想発表 ・活動前、朝の会に意気込みの発表 ・活動して達成感を実感し、次回への期待を持つ ・一人でできることを増やす。 ・したいことをしてみる。 ・小中のお兄さんへのあこがれ。	○職業種の理解と自発的な活動への取り組み	・授業後の感想発表 ・活動前に意気込みの発表 ・活動して達成感を実感し、次回への期待を待つ ・一人でできることを増やす。 ・したいことをしてみる。 ・高等部との学習交流を通して、憧れを抱くイメージをする。 ・現場見学を通して、将来の進路についての関心を高める。	○将来設計に基づいた進路計画	・しごと・暮らし ・現場見学 ・校内実習 ・現場実習 ・校外学習(現場見学) ・余暇活動の充実